

〔横田充洋〕

(1) IP 化の進展がネットワーク形態に与える影響 IP 網による通話コストの抑制、効率化は確実なため、メーカーなどの音声通話による

サポート体制が大きく変わる可能性はある。ネットワーク形態への影響として、遅滞の少ない優先接続が、聴障者の通話に関わる特定の事業者において要求される可能性が非常に高い。

(2) IP 化の進展が電気通信市場構造に与える影響

類似ケースに D-FAX サービスがあげられる。電話番号をすぐに入手できること。

<http://www.d-fax.ne.jp/>

発信者負担課金がさらに求められ、課金仕組みの効率化が求められる。時～分単位での契約更改が求められるようになる。

(3) IP 化の進展が競争環境整備の在り方に与える影響

1. 設備およびサービスは両輪として、ユニバーサルサービスを念頭をお願いしたい。音声通話が利用できない聴覚障害者にとっては文字通話が音声通話と同等な対話性を持つことを強く望んでいる。したがって音声ガイドしか提供しないようなサービス、音声通話しか提供できない端末機器は情報アクセシビリティの観点から歓迎できないことを強く申し上げたい。

2. 既存の固定回線からファクスを受信する際、ISDN では TA のアナログ端子を経由して従来のアナログ回線用のファクスを使って受信することができている（全ての TA で、動作が保証されていない点にもご留意下さい）ように、IP 端末にも同様な機能を持たせるように奨励していただきたい。通話品質の基準は音声通話だけでなく既存の非音声通信機器の使用も考慮して定めていただきたい（米国では配慮されているそうです）。

3. i-mode や L-mode における着信者負担となるような課金は IP 化においては到底受け入れられなくなると思われる。むしろ IP 端末の MAC アドレスなどを利用した厳格な認証なども考慮していただきたい（固定回線においては物理的な配線そのものが認証そのものであるともいえる）。携帯電話各社、固定電話においては電話番号だけで異なったキャリアと音声通話が成立するものの、文字機能においては e-mail でしか異なったキャリアと通わせられないのは不公平に感じる。各社が電話番号で通じる音声用のネットワークに、文字情報も乗せるようにするだけで、インターネットを介する e-mail と区別して文字通話を行うことが容易になるはずなのに、なぜ各社がそのようにしないのかが非常に疑問である。

4. IP 端末には液晶表示が標準搭載とされつつあるようだが、2 バイト言語圏への提供を考慮すると、漢字を表示可能なことにすることを奨励していただきたい。

(4) その他検討すべき事項

電気通信アクセシビリティ指針を尊重するように呼びかけていただきたい。携帯電話の IP 端末化においても、文字通話のリアルタイム性を考慮いただきたい。IP 網が未導入の地域において、固定電話と IP 端末との文字通話を行えるようにする施策もお願いしたい。（固定電話についても液晶表示付きのものが増えてきているので、ソフト的な問題だけになる）

2 IP化の進展がネットワーク形態に与える影響

項目名	主な意見
IP化の進展は、ネットワーク形態に影響を与えられ るが、PSTNとIP網の並存が相当期間継続するもの と考えるか、それともIP網への移行が加速的に進 展する可能性がある と考えるか。	

項目名	主な意見
<p>また、物理的なネットワーク構造（バックボーン系、アクセス系）は、例えば、P2P（Peer to Peer）通信等の新たな通信形態の登場に伴って影響を受けると考えられるか（例えば、ネットワークの統合化の進展の可能性、地域アクセス網のボトルネック性に与える影響、片方向（下り）から双方向（上り・下り）へのブロードバンド化の進展等）</p>	

2 IP化の進展がネットワーク形態に与える影響

項目名	主な意見
その他、IP化の進展がネットワーク形態に与える影響として、どのような事項が考えられるか。	IP網による通話コストの抑制、効率化は確実なため、メーカーなどの音声通話によるサポート体制が大きく変わる可能性はある。ネットワーク形態への影響として、遅滞の少ない優先接続が、聴障者の通話に関わる特定の事業者において要求される可能性が非常に高い。

3 I P 化の進展が電気通信市場構造に与える影響

項目名	主な意見
<p>I P 化が進展し、音声、データ、映像を統合した多様なサービス提供を可能とし、また P 2 P 通信の登場など新たな通信形態が登場することにより、電気通信市場構造にどのような影響があると考えられるか（例えば、通信市場への参入の容易化がプレイヤー間競争に与える影響、レイヤー縦断型のビジネスモデルに与える影響、固定・移動サービスを統合した新たなビジネスモデルの登場の可能性、通信サービスの単位当たり収入の減少が電気通信事業者の収益構造に与える影響等）。</p>	<p>類似ケースに D-FAX サービスがあげられる。電話番号をすぐに入手できること。http://www.d-fax.ne.jp/ 発信者負担課金がさらに求められ、課金仕組みの効率化が求められる。時～分単位での契約更改が求められるようになる。</p>

項目名	主な意見
その他、IP化の進展が電気通信市場構造に与える影響として、どのような事項が考えられるか。	

4 IP化の進展が競争環境整備の在り方に与える影響

項目名	主な意見
電気通信事業分野における競争促進策として、引き続き、設備競争とサービス競争を同時に促進していくという方針で対処していくことよいか。	1. 設備およびサービスは両輪として、ユニバーサルサービスを念頭をお願いしたい。音声通話ができない聴覚障害者にとっては文字通話が音声通話と同等な対話性を持つことを強く望んでいる。したがって音声ガイドしか提供しないようなサービス、音声通話しか提供できない端末機器は情報アクセシビリティの観点から歓迎できないことを強く申し上げたい。

項目名	主な意見
<p>IP化の進展に伴い新規性のある技術が多数登場し、多様なサービス提供が実現していくことが期待される中、競争政策として、競争中立性・技術中立性を確保する観点からどのような点に留意していくことが必要と考えられるか。</p>	

項目名	主な意見
<p>現行の競争の枠組みについて、IP化の進展により見直しが必要となる事項としてどのような事項が考えられるか（例えば、支配的事業者の指定に係る市場の画定の在り方、料金規制・接続ルールに与える影響、技術基準の在り方、消費者保護の観点から留意すべき事項等）。</p>	<p>2. 既存の固定回線からファクスを受信する際、ISDNではTAのアナログ端子を経由して従来のアナログ回線用のファクスを使って受信することができる（全てのTAで、動作が保証されていない点にもご留意下さい）ように、IP端末にも同様な機能を持たせるように奨励していただきたい。通話品質の基準は音声通話だけでなく既存の非音声通信機器の使用も考慮して定めていただきたい（米国では配慮されているそうです）。</p> <p>3. i-mode や L-mode における着信者負担となるような課金は IP 化においては到底受け入れられなくなると思われる。むしろ IP 端末の MAC アドレスなどを利用した厳格な認証なども考慮していただきたい（固定回線においては物理的な配線そのものが認証そのものであるともいえる）。携帯電話各社、固定電話においては電話番号だけで異なったキャリアと音声通話が成立するものの、文字機能においては e-mail でしか異なったキャリアと通わせられないのは不公平に感じる。各社が電話番号で通じる音声用のネットワークに、文字情報も乗せるようにするだけで、インターネットを介する e-mail と区別して文字通話を行うことが容易になるはずなのに、なぜ各社がそのようにしないのかが非常に疑問である。</p>

項目名	主な意見
その他、IP化の進展が競争環境整備の在り方に与える影響として、どのような事項が考えられるか。	4. IP 端末には液晶表示が標準搭載とされつつあるようだが、2バイト言語圏への提供を考慮すると、漢字を表示可能なことにすることを奨励していただきたい。

5 その他検討すべき事項

項目名	主な意見
その他、IP化（又はブロードバンド化）の進展に伴って検討が必要となる事項として、どのような事項が挙げられるか。	電気通信アクセシビリティ指針を尊重するように呼びかけていただきたい。携帯電話のIP端末化においても、文字通話のリアルタイム性を考慮いただきたい。IP網が未導入の地域において、固定電話とIP端末との文字通話を行えるようにする施策もお願いしたい。（固定電話についても液晶表示付きのものが増えてきているので、ソフト的な問題だけになる）